



# ミクロネシア NEWS

2019年3月11日第7号  
JICA 青年海外協力隊  
ミクロネシア連邦派遣  
小学校教育隊員  
磯崎 春美（中野区立江原小学校）

江原小のみなさん、こんにちは。もうすぐ卒業式を控え、なにかと忙しい時期かと思いますがみなさんいかがお過ごしでしょうか。6年生のみなさん、成長したみんなの姿が目には浮かぶようです。2年生のころのかわいいみんながもう卒業していくなんと驚いています。きっとみなさんと会えない間の1年間に多くの経験をし、成長したのだらうと思います。立派になったみなさんの姿を見たかったです。ミクロネシアから、みなさんの新たな場所での成長、活躍を心より祈っています。在校生のみなさんも、新たな学年にむけての振り返りや目標を立てる時期ですね。私もみなさんと一緒に気持ちを新たにスタートを切っていきたいと思います。

そして今日で東日本東北大地震から8年が経ちます。今ある生活に感謝し、誰かのために行動するという気持ちを忘れずに日々を過ごしてほしいと願っています。

さて、今回のミクロネシアニュースは「日本とのつながり」というテーマで二つの出来事を紹介します。

## Friends of Micronesia

フレンズオブミクロネシアはNPO（特定非営利活動法人）団体です。この団体はミクロネシアに住む日本人やミクロネシアの子どもたちに日本から物資（文房具など）を支援しています。ネッチ小では2年前にピアノ8台、リコーダー8本を寄付してもらっていました。そして今年もピアノ8台とリコーダー1本を寄付していただきました。



この寄付のおかげで多くの子どもたちがピアノを使うことができるようになりました。早速今週は音符の読み方、鍵盤と音符の配置について勉強し、自分で楽譜を読んで演奏することに挑戦しました。今まではドレミの書いてある楽譜を見て、音階のシールが貼ってある鍵盤を弾いて演奏していました。そのシールは全部剥がして練習スタート。最初は不安そうな様子でしたが、楽譜を読んで演奏することの楽しさを感じることができてとても嬉しそうでした。

これからは簡単な楽譜から演奏を初めて、難しい曲にもチャレンジしていけたらいいなと思っています。ポンペイは日本と違って5月で年度が終わるので、その時に発表会をしようと企画しています。ただ、あまりにも私自身に音楽の感性がないため、「ああここに増田先生がいたらなあ…」と悩みながらクラブの準備や計画をしています。

# 国際文化交流イベント



続いては日本から来た方たちが開いたイベント「国際文化交流フラワーアーツ&茶道 with 和太鼓」についてです。このイベントでは生け花の体験と和太鼓の演奏を行い、日本文化を身近に感じてもらおうと関西の団体が企画したものです。私も見に行ってみようと思って参加しましたが、行ってみると大変なことが起きていました。

- ① ストームの影響で飛行機が到着しておらず、メンバー7人がポンペイに到着していない。
- ② 現在いるスタッフは4人のみ。
- ③ 2時間前に届くはずの音響セット（スピーカー）がまだ届いていない。
- ④ 準備がまったくできていない。

そのため、私は受付を手伝いました。その後は生け花の説明をしたり、片付けなどを英語で通訳し司会をしたりと大忙しでした。ポンペイに来て8カ月、このように予定通りにいかないことが多く起こるので、今回も「またか。」と思い、予想外の事態にも全く焦らなくなりました。

イベントには多くの現地の人々が参加し、現地の植物を使った生け花を楽しんでいました。また太鼓の体験もあり、日本の文化を知ってもらう良い機会となりました。

青年海外協力隊として去年の6月に派遣され、1年9カ月の任期もあと少しで1年を切ります。新しい環境での生活は慣れることに精一杯でした。しかし、現地語や現地の生活が分かってきた今は、「こんなことしてみよう。」「子どもたちにこんなことも教えたい。」と新たな目標を立てているところです。みなさんも来月からは学年が変わり、教室や学校が変わり、変化がたくさんあると思います。その変化を楽しみつつ、新しい挑戦をしていってほしいなと思います。上手くいかないこともたくさんありますが、辛い時に目標があると「あと少し頑張ろう！」と自分を励ますことができるようになります。それではまた新学期に。

写真は「国際女性デー」のイベントの様子

